

X. アンケート（ミニ・レポート）の注意

菊地暁 (folklore.lecture@gmail.com)

Facebook&twitter（現X）「とある民俗学講師の補足メモ」

①技術的な注意

- ・上記アドレスにメールで提出
 - ・タイトルにならびにメール本文一行目に
年、京大、学部頭文字、学年、氏名、（その週の）講義タイトルを記入
[例] 2025 京大理1 楊文里 民俗学の方法 [例] 2025 京大コンソ3 西大路沙夜たべる
- ・なお、あいさつ等は不要
- ・締切：講義週の日曜日
（後日、確認のため講師より空メールを返信する）
- ・文章は添付ファイルではなくメール本文に書くこと（画像ファイル等は添付可）
- ・上記の指示に則っていないものは減点することがある（1回4点満点）
- ・本アンケートの趣旨は講義内容の習熟度を確認することであり出欠を問うものではない。講義内容を理解せずに提出した場合は4点以上の減点をすることがある。当然ながらコピー等の不正は認められない。
- ・民俗学は「内省の学」という学問の性質上、扱う内容がプライバシーに関わることもありうるが、個人情報保護には十分に配慮し、本アンケートの内容は研究・教育以外の目的に使われることはない。

②内容上の注意（一般的）

- ・本アンケートは、短文ながら学術的レポートであり、それに相応しい形式と内容が必要である。
- ・分量は、別途指示のない場合は、100～400字を目安とする。
- ・箇条書きではなく、きちんと文章化する。
- ・TPOを明確にする。
- ・情報ソースを明確にする。観察データと書物から得られたデータをごっちゃにしない。
- ・事実関係の「記述」とそれに関する「分析」「判断」「推論」はきちんと区別する。
- ・送信前に一度内容を読み直すこと。送信内容は保存しておくこと。

③内容上の注意（民俗学的）

- ・「場所」に関わる情報は不可欠！（少なくとも市町村まで明記）
- ・「時間」に関わる情報は不可欠！
- ・「概念」は事実を観察し理解を整理するための「道具」である。ということは使い勝手がある。「概念」に「当てはめる」ことにさしたる意味はない。「概念」と「事実」を往還することが重要。
- ・本講義では時間の制約上、標準的もしくは特徴的事例を主に取り扱うが、それ以外の事例を否定しているわけではない。あくまで事実の観察が出発点。地域差、時代差、職業差、個人差…も念頭に置く。